

令和2年度 第1回四日市市文化財保護審議会 議事録概要

日時：令和2年8月27日（木）

13：30～14：15

場所：四日市市役所9階教育委員会室

【出席者】

桐生 定巳 会長 上野 秀治 副会長 武田 明正 委員 木村 裕之 委員 鬼頭 秀明 委員

久志本 まどか 委員 井上 喜久男 委員 道田 美貴委員 清水 弘子 委員

事務局：松岡副教育長 社会教育・文化財課：伊藤課長 葛山課長補佐 清水 山根 三厨 堀越

※リモートでの出席 神野 恵 委員 朝倉 由希委員 柳澤 宏江委員

【傍聴者】

なし

1. 開会

事務局： 委員13名中、リモートでの出席委員を含め出席者12名と委任状出席者1名により過半数に達しているため、四日市市文化財保護審議会運営規則第6条の2により、会議が成立しておりますことを確認しご報告いたします。

また、本日の事項書のうち、『5. 協議事項』及び『6. その他』につきましては、未指定文化財の調査に関する協議もあり、非公開としてよろしいか。

なお、本会議につきましては、新型コロナウイルスの情勢を鑑みまして、長時間の会議を避けたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いします。

委員：（了承）

2. 副教育長挨拶

3. 会長・副会長の選任

委員： 事務局はどう考えていますか。

事務局： 事務局といたしましては、引き続き、会長を桐生委員に、副会長を上野委員にお願いしてはどうかと考えております。

委員：（了承）

事務局： それでは、今期令和2年度から令和3年度までの会長を桐生定巳委員、副会長を上野秀治委員にお願いいたします。

4. 報告事項

（1）令和元年度文化財保護事業について（報告）

（「令和元年度文化財事業報告」参照）

事務局： 前回の保護審議会で報告した内容とほぼ同じですので、重複する部分を省略して主な3点をお伝えします。

一つはくるべ古代歴史館についてです。おかげさまで令和元年12月14日に入館者数が1万人に達しまして、今年3年目を迎えました。令和元年度の入館者数は3,834人でした。久留倍官衙遺跡公園オープンを機に、ますますの来館者数の増加を目指したいと考えております。

二つ目に新型コロナウイルスに係る休館等についてです。近日の新型コロナウイルスを取り巻く情勢に関連して、本市でも4月15日から定例の休館を含めまして5月20日までくるべ古代歴史館を休館いたしました。それに伴い、冬季のイベント及び体験活動の中止並びにボランティアの活動自粛を行いました。

三つ目は、北勢四市文化財協議会についてです。令和2年1月17日の保護審議会でも相談させていただきましたが、鈴鹿市が引き続き協議会に参加することになり、四日市市としても以前の通り継続して参加していく事となりました。

会長： 令和元年度文化財保護事業について報告がありました。質問等ございますか。

委員：(質疑等なし)

(2) 令和2年度文化財保護事業について(計画)

(「令和2年度文化財事業計画」参照)

事務局： 同じく、すでにご報告させていただいているところは省略し、ここでも3点お伝えいたします。

1点目は新型コロナウイルスについてです。令和2年度になりましても新型コロナウイルスの影響は収まらず、企画しておりましたイベントのほとんどにつきまして、中止あるいは延期しました。現在、歴史館は、入館者数の制限や手指のアルコール消毒を行いながら開館しており、イベントにつきましては情勢を鑑みながら行って参りたいと考えております。ですが、歴史館の体験活動については引き続き中止しております。

2点目にその中で、先ほど副教育長のあいさつにもありましたように、久留倍官衙遺跡公園が令和2年11月1日にオープンいたします。本来であれば、本日、委員の皆様には現地での視察をしていただきたかったところですが、新型コロナの影響や熱中症の懸念から中止させていただきました。1日当日は、記念式典と音楽会を予定しております。委員の皆様には、案内を送付させていただきます。お忙しいと思いますが、ぜひご出席いただければと思っております。

最後に、埋蔵文化保護事業のところで、太陽光発電開発に伴いまして、現在菅野遺跡の調査を行っていることを付け加えさせていただきます。

会長： 令和2年度文化財保護事業について報告がありました。質問等ございますか。

委員：(質疑等なし)

(3) 文化財保存活用地域計画について

(「文化財保存活用地域計画について」参照)

事務局： 昨年度第2回文化財保護審議会でご説明させていただきましたが、追加資料として策定協議会の委員名簿等付けさせていただいているので後でご覧いただければと思います。

地域計画を簡単に説明しますと、平成31年4月1日に行われた文化財保護法の改正により、各市町村が目標や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用にむけた基本的なアクションプランを策定する事となっています。

今年度から策定を始めておりますが、8月11日に策定協議会を行いました。委員の方は14

名（委員名簿参照）で、文化財保護審議会委員でもある桐生先生、朝倉先生、久志本先生にも入っていただいております。

地域計画は令和 2,3 年度で策定をして、令和 4 年度に文化庁へ認定申請をしたいと考えております。

具体的な令和 2 年度の工程としては、1 から 7 まであるうち現在は 2 番目の文化財リスト（データベース）の作成を目指しております。そのために、5 番目住民アンケート・ヒアリングの実施とありますが、各地区の文化財に詳しい方にアンケートを実施、回収後地元へ現地調査を実施したいと考えております。

アンケートは、「地区の歴史文化資源に関するアンケート（案）」として各地区センターに答えていただける方の推薦を依頼しています。

アンケートには、こちらが用意した一覧表に無いお宝を書いていただきます。内容として祭礼・伝承行事、またはそれ以外の地区で大切にされているもの、歴史や文化の保存・活用に関する団体や活動を教えていただき、裏面では今後の保存活用の取組みについて選択肢や記述で答えていただき、課題等を検討したいと考えております。

地域計画を策定するにあたり、社会において少子高齢化が進んでいく中で、いかに各地域で文化財の保存活用に取り組んでいただけるか考えていきたいと思っております。

会長： 文化財保存活用地域計画について報告がありました。意見や質問等ございますか。

委員：（意見、質疑等なし）

5. 協議事項

（非公開）

6. その他

（非公開）

7. 閉会

事務局： 令和 2 年度第 1 回四日市市文化財保護審議会を閉会します。ありがとうございました。